

令和2年度豊かなむらづくり顕彰受賞
福島さくら農業協同組合郡山地区
湖南夏秋とまと生産部会様が
受賞報告のため表敬訪問されます



ターゲット 2.4

令和3年1月22日

郡山市農林部

農業政策課

担当：須藤 京子

TEL：924-2201

SDGs ターゲット 2.4 「持続可能な食料生産システムを確保し、強靭（レジリエント）な農業を実践する。」

令和2年度豊かなむらづくり顕彰農業生産部門を受賞された福島さくら農業協同組合郡山地区湖南夏秋とまと生産部会様が、受賞報告のため市長を表敬訪問されます。

1 日 時 1月25日(月) 午後3時00分

2 場 所 市役所秘書課応接室（本庁舎2階）

3 訪問者 福島さくら農業協同組合湖南夏秋とまと生産部会 部会長 古澤 幸博 様

福島さくら農業協同組合湖南東総合支店 副支店長 岩谷 文武 様

4 応対者 郡山市長
農林部長

〈受賞内容〉

受賞内容	令和2年度豊かなむらづくり顕彰 農業生産部門
団体の概要及び受賞の理由	<p>昭和 52 年に「湖南夏秋とまと生産部会」を設立後、パイプハウスと共同選果体制の導入により、収量の安定と高品質化が実現している。</p> <p>また、肥培管理改善のため部会員全員が樹液診断技術を導入することで、部会平均単収の向上を実現するとともに作業を省力化できるタイマー式かん水装置を導入して、栽培面積の維持拡大を図る等、生産力の向上に取り組んでいる。</p> <p>さらに、部会員による丁寧なフォローにより、新規栽培者も定着し、担い手が確保されている。</p> <p>エコファーマーの団体認定や部会が一丸となって F G A P の団体認証を取得するなど産地としての信頼を確保したことで、トマト栽培が生業となり、人の定着、地域農業への振興に寄与している。</p>

〈豊かなむらづくり顕彰〉

魅力ある農山漁村づくりや農業振興で顕著な功績のあった団体をたたえる「豊かなむらづくり顕彰事業」は、昭和 56 年度に始まり、今回が 39 回目。（平成 23 年度は東日本大震災のため休止）令和元年度までに「むらづくり部門」で 176 団体、「農業生産部門」で 95 団体を顕彰している。

主催：福島県、福島民友新聞社

後援：福島県農業会議、福島県農業協同組合中央会、福島県農業振興公社、福島県土地改良事業団体連合会